

2018年6月4日

再生可能エネルギーを「主力電源に」!

再生可能エネルギーの最大限導入のための議論を始めます

公益社団法人土木学会

エネルギー委員会 環境技術小委員会

経済産業省は今春、エネルギー基本計画の見直しに向けた骨子案の中で、太陽光や風力などの再生可能エネルギーは安定供給面、コスト面で課題があるものの、温室効果ガスを排出せず、エネルギー安全保障に寄与できる重要な低炭素の国産エネルギー源と位置づけ、「主力電源」として、最大限に導入していく方針を明確にしました。当委員会では、再生可能エネルギーの開発の現状と課題、制度、途上国のエネルギー事情、導入について、まとめました。

このたび、これまでの活動内容を報告するため、講演会「再生可能エネルギー開発～最新事情と海外展開～」を開催します。主な講演内容は以下の通りです。

○国内外の再生可能エネルギーの動向

- ・2015年、世界に設置された発電設備の50%以上が再生可能エネルギー
- ・2030年、日本の総発電電力量に占める再生可能エネルギーの割合は22～24%（見込み）
- ・2017年～2040年の再生可能エネルギーの投資額は約720兆円の見込み
(世界エネルギー機関)

○アメリカのエネルギー政策、地球温暖化対策

○再生可能エネルギービジネスの今後の展望

- ・蓄電サービス業、アンシラリーサービス、エネルギー貯蔵ビジネス、自産自消の分散型太陽光発電システム

記

「再生可能エネルギー開発～最新事情と海外展開～」出版記念講演会

日時：2018年6月11日（月）15：00～17：30

会場：土木会館 講堂（東京都新宿区四谷一丁目 外濠公園内）

主催：公益社団法人土木学会（エネルギー委員会 環境技術小委員会）

※ 講習会プログラム等詳細は、下記 URL でご確認いただけます。

http://committees.jsce.or.jp/enedobo/system/files/講演会開催案内_0.pdf

以上

問合せ先：公益社団法人 土木学会 研究事業課 杉岡 清博
〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内
TEL: 03-3355-3559 E-Mail: sugioka@jsce.or.jp